

**【淡路島公園ハイウェイオアシスゾーン、淡路夢舞台公苑・灘山緑地】
サウンディング調査実施結果**

1 参加事業者数 7者

2 サウンディング調査結果の概要

サウンディング調査において、参加事業者からいただいたご意見等の概要は以下のとおりです。

事業手法について
指定管理者制度 が望ましい。
指定管理期間について
投資回収や魅力的な施設整備のため、 10年 の期間を望む意見が多数であった。
公募期間について
提案書作成や広大な敷地調査、事業体組成の準備が必要であるため、 約4~6カ月程度 の公募期間が望ましい。
提案内容について
【淡路島公園ハイウェイオアシスゾーン】 <ul style="list-style-type: none">・地元飲食店や土産物店による賑わい空間の創出・休日限定営業など来客数に応じた効率的な運営形態・コンテンツ連携による訪日客の誘致と消費拡大・飲食施設での地元食材活用と体験型イベントの実施・淡路サービスエリアとの連携強化による利便性向上・地域住民と観光客の双方の需要を見込んだ物販・イベント展開
【淡路夢舞台公苑】 (温室) <ul style="list-style-type: none">・現状のコンセプトをもとにデジタル技術の活用や、カフェ等の収益施設・イベント展開による活性化の推進・植物とアートを組み合わせた展示空間の創出・団体客を積極的に取り込むためのプロモーション強化・季節イベントに合わせた夜間営業の実施 (野外劇場・芝生広場) <ul style="list-style-type: none">・収益イベントの実施（音楽・サーカス・ロハスピクニック等）・大屋根やテントの設置による休憩スポットの創出
【灘山緑地】 <ul style="list-style-type: none">・眺望を活かした景観回復のための適度な間伐と展望施設の整備・環境学習エリアとしての活用や自然体験型イベント実施による利用価値の向上・間伐材の有効活用方法の検討による資源循環の推進

- ・簡易宿泊施設や RV パークの導入による滞在型利用の促進
- ・夜間の有料アミューズメント施設の導入
- ・緑地管理と収益事業を両立させる運営モデルの検討